

所沢市立所沢中学校 学校だより

所中だより

令和6年10月2日 第7号

学校教育目標
「自立・共生・貢献」
・求めて学ぶ（自主性）
・共に生きる（人間性）
・力を尽くす（社会性）
校長 江原 勝美

【特色ある学校づくり宣言】 本校は、**さわやかな挨拶**・**心に響く合唱**・**地域に根ざす学校**を目指します。

〒359-1118 所沢市けやき台2-44-1 Tel. 04-2922-4138(FAX:4139)
<http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/tokorozawa-jh/k> E-mail tokorozawa-j@tokorozawa-stm.ed.jp

新人戦を終えて ～これからの成長に期待すること～

ピンチの裏側

神様は決して
ピンチだけをお与えにならない
ピンチの裏側に必ず
ピンチと同じ大きさのチャンスを
用意してくださっている
グチをこぼしたり ヤケを起こすと
チャンスを見つける目がくもり
ピンチを切り抜けるエネルギー
さえも失せてしまう
ピンチはチャンス
どっしりかまえて
ピンチの裏側に用意されている
チャンスを見つけよう

左の詩は、2007年8月22日第89回全国高校野球選手権大会の決勝戦、逆転満塁ホームランで初優勝した佐賀北高校野球部の部訓となっていたことで有名になった詩です。

先日行われた新人戦を観ていて、勝利までもう一息という場面で本来の実力を発揮できなかったと感じる場面が多くありました。いわゆる弱気になってしまった状態になり、試合の流れ（勢い）が相手側に行ってしまいました。左の詩には「ピンチはチャンス」とありますが、ピンチはピンチであり、追い詰められている状況に変わりはありません。ピンチをチャンスと決めるのは自分自身の気持ちです。ピンチをチャンスだと思えることが大切であり、その思いは自分自身の意思で変えることができると言っているのだと思います。ピンチの状況は誰にでも起こり、焦り、不安になり、マイナスの感情ばかりが頭に浮かび、冷静さを失い、どうしたら良いか分からない状態になります。これまでは、親や先生、周りの大人が解決してくれたり、支え、導いてくれることが多かったと

思いますが、これからは、自分（自分達）の力で対処していかなければならないことが多くなります。では、どのようにしたら、ピンチの状況で冷静に対処し、本来の力を発揮できるようになるのでしょうか。

イチロー選手の場合、何か期限が迫った時に「あと3日しかないと考えのではなく、まだ3日ある」と考えるようにしているという話は、以前紹介しました。人（親や先生）に物事を頼まれた時に「どうして私なの？ではなく、私ならばできると信頼されて任された」と考える。「ここで自分が打てなければ負けてしまうではなく、ここで自分が打てば勝てる」と考える。このように考え方をポジティブに変えてみるだけで、ストレスの負荷が変わってくるそうです。そうは言っても、そんなに簡単に考え方を変えることはできません。

もちろん失敗せずに順調に物事を進められるにこしたことはありませんが、一度も失敗しない人はいません。失敗してしまった時に、その失敗を「なぜうまくいかなかったのか」「どうしたらうまくいったのか」と振り返ることは、次のピンチの場面での解決策の幅を広げます。いざという時に落ち着いて対応することができ「ピンチをチャンス」と捉えられる気持ちの余裕につながるのでしょうか。つまり、日頃からの思考や行動が大切だということです。今年度の所中だより第2号にも2つの言葉を紹介していますので、時間があれば読み返してみてください。新人戦で目標の結果に届かなかった部（人）は、「まだまだ、伸びしろがある」「次に勝つチャンスがある」ということです。個人個人の技能（攻撃力と守備力）を高めること、チームワークを高めること、試合の緊張する場面でも普段通りのプレーができる精神力を身に付けること、やるべきことはたくさんあります。ピンチの裏側に用意されているチャンスをつかめるよう、意識して行動してみましよう。

～お知らせ～

☆10月7日（月）大学の先生を指導者に招いて、授業力向上に向けた校内研修を行います。2年5組と3年2組で研究授業を行うため、その他の学級は13：50下校となります。

☆10月1日（火）より、市スクールカウンセラー■■■■■に代わり■■■■■、8組の副担任（陸上部顧問）として■■■■■教諭が着任しました。よろしくお願いいたします。

所中生の活躍

令和6年度新人体育大会所沢市予選会



11月の主な行事予定

※新人戦以外の表彰については、次号で掲載いたします。